



## 30万ダウンロードを突破!!



おかげさまで、桐原書店の無料学習アプリ「きりはらの森」は、**30万ダウンロード**を突破しました。新年度の始まる4月にダウンロードが増加する傾向にありますが、今年はその後も着々と増加し続けています。中学英語から、社会人のTOEIC®対策に至るまで、搭載されているコンテンツはすべて無料でどなたでもご利用いただけます。それでは今年も、人気ランキング上位の教材を発表します。

DataBase3000      DataBase4500      FACTBOOK (学校採用専売品)      Next Stage      POWER STAGE

読解を深める 現代文単語 (改訂版が出ました)      現代文単語・漢字      入試漢字コア 2800      重要古文単語 315      古文攻略マストアイテム 76

昨年刊行の『総合英語 FACTBOOK』(学校採用専売品) や、『古文攻略マストアイテム 76』が早々にランクインしています。この他、句形を暗記カードで学べる『漢文必携』(学校採用専売品) や、大西泰斗先生の新刊『WORD SENSE』も常にベスト 10に近い位置にいますし、小論文の解説ムービー(「小論文の基本的な書き方」)は3万回の視聴回数を超える人気コンテンツになっています。

これからも新刊に続々対応させていく予定です。様々な教材の学習を、このアプリで楽しんでいただけたら嬉しく思います。





# 英文校閲者のひとりごと 13

桐原書店の英文校閲担当者（アメリカ出身、在日歴長め）が日本で感じたちょっとしたことをつぶやきます。

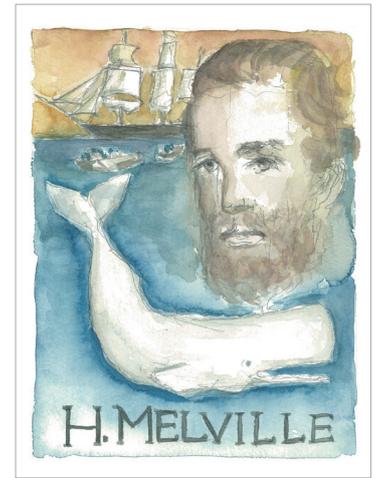


## Rediscovering the Great Writers

Now that the intensely hot summer of 2018 has become a fading memory and cool autumn temperatures are upon us, many people may be interested in staying indoors and cuddling up with a good book. Indeed, I find the Japanese expressions “the autumn of reading” and the “autumn of good appetite” to be charming, as if the season lends itself to those luxurious pursuits.

Lately I have been reading the brilliant short stories of Herman Melville. I have been surprised at the modernity of this 19th century American writer; his prose is just as clear, powerful and relevant in the 21st century as it was when I first encountered Melville in high school—as many Americans do through his epic masterpiece **Moby-Dick**.

Now that I am closer to the age Melville was when he wrote those stories, they make much more sense to me and appeal to my middle-aged temperament. This is all thanks to bookstores. Going into a physical bookstore now seems to be a rare activity for many in this age of digital books, but there is something awe-inspiring about standing before paper volumes of the great masters of literature in a physical space. We can be in the presence of history’s geniuses, preserved forever and ready for us to explore and revive their thoughts once again.



筆者が描いた Melville (イメージ)

## 日本語訳

## 偉大な作家たちの再発見

ようやく 2018 年の猛暑の記憶が薄れ、秋らしい涼しい空気が感じられるようになった今、部屋にこもって良書に親しもうとする人も多いかもしれません。実際の話、私が「読書の秋」と「食欲の秋」という日本語の表現を魅力的に感じるの、まるでこの季節がそうした贅沢な楽しみのために協力してくれているように思えるからです。

最近、私はハーマン・メルヴィルが書きたいいくつかのすばらしい短編小説を読んでいるのですが、19 世紀に活躍したこのアメリカ人作家が持つ現代性には驚かされます。彼の書く文章はとても明快で力強く、多くのアメリカ人がそうであるように私も高校時代に彼の最高傑作『白鯨』を通じて初めてメルヴィルを知ったのですが、その当時と変わることなく、21 世紀の今でも新鮮に感じられるのです。

今、メルヴィルがそうした物語を書いたときの年齢に自分が近づいてみると、彼の作品にはより真実味が感じられ、中年となった私の感受性が刺激されます。こうしたことは、すべて書店のおかげなのです。今どき実際の書店に出かけるなんて、このデジタルブック全盛の時代に生きる多くの人たちには、まったく日常的なことには思えないかもしれません。しかし、現実の空間で偉大な文豪たちの紙の書物の前に立つと、何かしら畏怖の念のようなものに打たれます。そこで私たちは過去の天才たちと向き合い、永遠に保存された彼らの思いを自由に探索し、再びよみがえらせることができるのです。

